

子どもが安心して暮らせるまちを目指して

一般社団法人 兵庫県薬剤師会

いざという時に安心！ 薬局が取り組む子ども110番事業

一般社団法人兵庫県薬剤師会では、地域に密着した薬局・薬剤師として種々役割が求められている今日、職能を生かした社会活動の他に、専門分野以外でも地域社会に貢献する活動も重要であると考え、会員薬局における子ども110番事業への参加を決定し、オリジナルステッカーを作成しました。

子ども110番事業は、子どもが「登下校途中に知らない人に後をつけられた」「車に乗るよう声を掛けられた」「痴漢にあった」場合等の不審者から逃れるための緊急避難場所、警察への通報場所として、地域の薬局を利用してもらうとする活動で、地域社会に開かれた薬局、地域社会に貢献する薬局であるために会員薬局の参加を呼びかけている。



兵庫県薬剤師会は、子ども110番事業を平成26年5月1日から開始し、現在子ども110番事業参加薬局数は2,200軒に達しており、他機関と連携し、子どもの安全確保に努めている。



ひろげよう地域安全まちづくり

マモリンレポート



地域密着型の防災・防犯対策で安全・安心なまちを目指す

～ 岩園町自主防災・防犯会（芦屋市）～

ひょうご地域安全 SOS キャッチ電話相談



日常生活の中で、地域の安全・安心にかかる異変に気づいたら、お気軽に「SOS キャッチ電話相談」に通報・相談してください

身近な異変に気づいたら… 通報先に迷ったら…
いざ ツーホー (月～金 9:00～16:00)
078-341-1324 ※電話相談のみ 祝日・12/29～1/3 除く
専門機関や警察などに迅速・適切につなぎ、早期の対応を図ります

兵庫県・兵庫県警察

一回防犯必モ

子どもを守る「110番の家・店」は、各市町や各市町教育委員会、各事業者団体等が主体となり、現在県内に約78,000箇所が設置されています。

地域が一丸となって、子どもを守り、安全で安心な社会を作っていきましょう。詳しくは、協議会ホームページをチェック！（ホームページURLは下記に記載）

発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県地域安全課内

電話・FAX: 078-362-1071

e-mail: hyogo@bouhan-suishin.gr.jp

URL: http://hyogo.bouhan-suishin.gr.jp

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。

このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。



世代を超えた地域見守り活動

～ 瑞穂小学校地区社会福祉協議会防犯部（伊丹市）～

マモリンレポートとは

- マモリンレポートでは、県民のみなさんによる地域安全まちづくり活動の参考となるよう、まちづくり防犯グループ等の特徴的な取組を紹介します。
- 「マモリン」とは、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会のシンボルキャラクターです。





地域密着型の防災・防犯対策で安全・安心なまちを目指す

～ 岩園町自主防災・防犯会（芦屋市）～

教訓を生かした防災・防犯対策

阪神・淡路大震災や子どもの連れ去り事件等で得た教訓を忘れないためにも、定期的な防災訓練や防災・防犯情報の収集と住民への周知、関係機関との連携等を図っている。

グループは5班編成で、突発的な災害や事件に遭った場合の対応を各班の代表が集まり、話し合う機会を設け、様々な意見の中からより効果的な対策を採用し、活動に反映させている。



3班 班長 上山 和子さん

問題意識を持った地域防犯パトロール

グループは、街灯の球切れや排水溝のふたの点検を行い、不備があれば、市道路課など関係部門へ申請し、その都度、改善するなど問題意識を持ったパトロールを心がけている。

今までにも子どもの登下校時のパトロール中に、小学生に対する声掛け事案を認知し、警察へ通報したこともある。

また、岩園町は1,000世帯を超え、人の入れ替わりも多いことから、地域の大きさに対して、活動人数が不足しがちである。このため、犬の散歩に合わせてパトロールを実施する「わんわんパトロール」等参加しやすい環境を作ったり、町内全域パトロール案内を毎月作成し、掲示板で有志の参加を呼びかけることにより、活動を継続させている。

会長 津村 芳彦さんの声



今年1月17日に阪神・淡路大震災から20年を迎え、当時被災経験をされた住民も徐々に減少していく中、自分たちは今何をすべきかを考えた結果、当時の教訓を踏まえた防災訓練を後世に引き継いでいかなければならないと考えました。それは一概に防災だけではなく近年の子ども連れ去り事件等でも同様で、犯人が捕まって終わりではなく、その事件で得た教訓や経験を生かした活動を実施していきたいと思っています。

グループの紹介 岩園町自主防災・防犯会

地域に密着したきめ細かい活動を実施していくためには、行政だけに頼るのではなく、住民自身が活動していく体制を作るべく、「岩園町自主防災・防犯会」を立ち上げた。

平成25年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。



世代を超えた地域見守り活動

～ 瑞穂小学校地区社会福祉協議会防犯部（伊丹市）～

連絡会議の開催 ～連携が命～

月1回、瑞穂地区社会福祉協議会地域福祉ネット会議を開催し、当メンバーや学校関係者、民生委員等の他機関が集まり、各機関が近況や気づいた点を発表し、情報交換を図るとともに、事案に対する改善点等をメンバー全員



で考え、話し合う場となっている。昨年も同会議において、より実効性のあるパトロールについて話し合われ、警察から得られる犯罪発生状況を分析し、犯罪が多発している時間帯にパトロールを実施するなど他機関と連携を図りながら柔軟に活動できる体制を築いている。



創意工夫した活動で犯罪を防ぐ



小学校通学路を中心とした見守り活動及び防犯パトロールを実施している。

実施にあたっては、年間延べ1,000人が参加し、「笑顔」でコミュニケーションを図りながら、登下校時に校門で子どもを見守る「スマイルスタッフ」や、散歩や買い物等に合わせ



て子どもの見守り活動をする「お散歩パトロール」も実施している。

また、瑞穂地区の通学路や校区内の危険箇所・子ども110番の家等を地図に記載した「みずほマップ」を作成、クリアファイル化して配布し、広く周知を図っている。

会長 三谷 稠さんの声



犯罪情勢は年々変化しています。それに伴い活動形態も変化させなければ、よい結果は生まれません。そのためにも柔軟に対応できる体制を構築していき、住民が安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

グループの紹介 瑞穂小学校地区社会福祉協議会防犯部

瑞穂小学校地区社会福祉協議会防犯部は、平成18年に結成され、メンバーはPTA等の現役世代から高齢者まで幅広い年齢層から構成されている。

最近では、ひったくり、露出事案、声掛けなどの身近なところでの犯罪が発生していたことから、防犯カメラを積極的に設置している。

平成25年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。

